

## ■前回及び前々回（創立 60、65 周年記念誌制作）からの引き継ぎ事項について ■

### ■データ配信での記念誌発刊案内に関して。

問題① メールでの配信の際にあまり定発に関心のない様子がうかがえます。

対策① 先輩方に伝わるように学年幹事に案内を依頼するなどの対策が必要です。

件名に【重要】とつけるなどの設える必要があります。又は「祝 70 周年記念誌発刊」など読みたくなるような設えがあるとより効果的です。

### 【予算上の問題点】

問題① 寄稿文の依頼方法について事前に先方への確認を行い、希望する依頼方法にて予算計上をする必要がある。

対策① 寄稿文の依頼は四日市 JC シニアクラブ会長のみのため、通常郵送にて依頼いたします。

問題②今回の記念誌を作成するに当たり、計画段階より過去の記念誌及び他 LOM の記念誌を参考にはしているが、青年会議所の記念誌だけではなく、一般企業の記念誌のデザインや予算を考慮して予算計画を行うと良い。

対応② 印刷会社の委員会メンバーや、つながりのある会社様など、幅広く情報を取得・参考にしながら作成していきます。

問題③ コロナのように特別な理由でキャンセルとなる場合があると、デザイナーへ既に発生しているデザイン費への支払いでもめることあります。

対策③事前にキャンセルポリシーを説明し、すでに作業していただいた分はお支払いできるような施策を LOM として、しておく必要があります。

問題④ 青年会議所は公益性の高い団体で、他者からの見られ方を考慮し、制作実績の多い会社に依頼が望ましく、デザインで伝えたい事よりもビジュアルを優先する方がよい。それにより予算が高騰する可能性があるため、十分に予算を確保する必要があります。

対策④ 十分な予算を見込み、制作業者と綿密に打合せを行い作業を進めます。

### 【運営上の問題点より】

問題① 寄稿文の内容については、記念誌発行までに依頼がされていないかを確認すると共に、年内で 2 度以上寄稿依頼が可能かを事前に確認すると良い。

対策① 確認の上、四日市 JC シニアクラブ会長のみへ寄稿依頼いたします。

問題② 集合写真を掲載する場合は、各例会・事業の際に撮影をする予定にしておくと早くから収集することができると、委員会メンバー全員での写真撮影ができるので行うと良い。

対策② 写真撮影については、各委員会へ早めに周知し、事前撮影を行います。

問題③ 寄稿文の依頼・確認方法のフローを作成し、誰がどのように依頼・確認を行うかを明確にする必要がある。

対策③ 寄稿文の依頼は理事長を除き1名のため、今回フロー作成はいたしません。

問題④ 歴代理事長やメンバーの顔写真を掲載する場合は、確実にデータを入手できるよう確認を取っておく必要がある。

対策④ 70周年式典時に保管いただいているデータを活用し、不足分については個別で確認・取得に動きます。

問題⑤ 名簿を掲載する場合は基本資料からの変更がある可能性があるため、事前確認の通知を出す必要がある。(名簿記載内容の確認のお願い)

対策⑤ 早期対応と確認を行います。

問題⑥ 表紙と裏表紙はズレなどの校正確認の段階で折り目のイメージを入れるようにすると、中心が分かり易くなり、印刷時にずれが生じないようにすることができるので行うと良い。また、メンバーの方でページ概要を作成し、業者の方にてページ内のイメージ等の最終調整をしていただくように事前依頼を行う必要がある。

対策⑥ 事前依頼を行います。

#### 【運動上の問題点より】

問題① 目的を確実に達成できるよう検証期間を確実に取れるよう、議案上程スケジュールを組み上げ発行が遅れないようにする必要がある。

対策① 審議後即座に行動できる準備を事前に整えてまいります。

問題② 掲載する写真のサイズを項目やページ内容によって変更することで、抑揚感が出て、楽しんで読んでいただくことを期待できるため考慮すると良い。ただし、全体的なバランスを崩し、統一感が失われてしまうことも併せて考慮する必要がある。

対策② 考慮させていただきます。

問題③ 創立時のチャーターメンバーの写真や日本青年会議所からの承認書等を掲載することや、創立時の想いをなどが分かるページ構成があると、創始の想いを受け継いで今後の運動展開へつなげることができる可能性があるので考慮すると良い。

対策③ 考慮させていただきます。

問題④ 記念誌に掲載する写真については何の写真かわかるように、全てに記載を行うと青年会議所の活動や運動を理解していただく一助となるため行うと良い。また、内容に関しては事業報告だけに留まらず、これから運動展開においての想いを詳しく掲載すると良い。

対策④ 考慮させていただきます。

#### 【その他】

問題① 記念誌に使用した写真データは、今後の記念誌作成においても貴重な資料となるため誰もがすぐ分かるように保存しておくと良い。

対策① ルームのパソコンおよび各種電子媒体に保存するようにいたします。